



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。感染症も落ち着き、収穫など充実した時期を迎え、各保育・教育現場では、様々な活動が再開されてきています。子ども達の元気な活動を支えるため、地域の方々にも多くの場面で関わっていただいているところです。今月号においても町民と子どもたちの関わりを中心に、その様子をお伝えいたします。

しみず認定こども園

やきいもおいしいな♪



6月に高校のハウスで高校生と一緒に植えたさつまいもが収穫の時期を迎えたので、さつまいも掘りへ行ってきました。

掘り方は高校生が丁寧に教えてくれたので、子どもたちも優しくさつまいもを傷つけないように一生懸命掘りました。

ただ、今年のさつまいもは豊作！そ

してサイズも大きく、子どもたちだけの力では中々掘りだせず、高校生と力を合わせて掘り出しました。

そして、11月1日に高校生が収穫したさつまいもを『やきいも』にしてくれました。食べることを心待ちにしていた子どもたち。

「いいにお～い♪」「おいしい！」と大満足で帰ってきました。



自分たちで植えて、収穫したさつまいもということもありましたが、何よりも高校生が自分たちのためにさつまいもの掘り方を教えてくれて、やさしいもをしてくれたことが嬉しくて、帰園後はみんなですぐにお礼のお手紙をかきました！

高校生の皆さん今年もありがとうございました。



御影こども園

しっとり～して、あま～くて 焼き芋って最高～！！！！



11月8日の晴れた日、御影こども園では焼き芋を行いました。

年長児のひまわりさんが新聞紙に水をつけてクルクルとサツマイモがはみ出ないように気を付けながら巻いたり、さらにアルミホイルを破けないように巻いたり…など、段々と上手にできるようになってみんなのために準備をしてくれました。

焼き芋を程よく焼いていたのは、田中園長と御影学童の大石先生です！

さて、サツマイモはどうしたのか…と言うと、9月26日にあさひ荘のおじさんたちが育てたサツマイモを5歳児4歳児20名に芋ほり体験をさせていただいた時のものでした。サラサラの土の中に大きな←（本当に大きい）サツマイモがたくさんあって傷つかないように丁寧に芋ほりをしてきたものでした！



40日ほど寝かしたサツマイモの味は…しっとりして、あま～くて、サツマイモが大好きな子どもはもちろん、普段ふかし芋が苦手な子どももおかわりす



るほど、とってもおいしかったです！！
あさひ荘の皆さん、学童の大石先生、ありがとうございました。
また、来年もよろしくお願ひします。



清水小学校

森林の良さと守り方について学びました！

10月16日に、森林組合の方をお招きして、5年生を対象に、清水町の森林についての授業を行いました。

清水町は日勝峠のふもとに位置する町でありながらも、森林の面積は更別村に次いで少ないとのことでした。理由は、畑作、酪農等が盛んであることから、畑や牛の牧草地等で土地を有効活用しているため、森林の面積が少ないとのことでした。

はじめに、全員で学校から10分ほど山に入った森林地帯に行きました。そこで、間伐の仕方と意味について学びました。間伐の目的は、木の下の部分まで太陽の光を届け、成長をより一層促すためと聞いて、地球上の生き物全てに太陽は必要とされ、太陽はまさに生命の源であると改めて感じました。間伐作業には、子どもたちはのこぎりを手に、とても楽しそうに取り組んでいました。切った枝を集めてまとめると、さっきまで鬱蒼^{うっそう}としていた地面付近がすごく明るくなって、すがすがしい気持ちになりました。



次は学校に戻り、樹木クイズと落ち葉パウチ作業です。樹木あてクイズは、子どもたちにとって木と木の区別は難しく、それぞれの特徴を覚えてもらいながら木の名



前を確認していました。

落ち葉パウチは、自分の好きな葉を選び、きれいにパウチすることができました。しおりやカードとして、今後、子どもたちの学びを支えてくれる貴重なアイテムになることでしょう。

清水の基幹産業のひとつである林業は、人々の生活環境を整えるだけでなく、我々の飲み水や生態系を守っている、とても大切な資源です。子どもたちには、この大切な資源を持続可能にするために必要なことを学び、将来、豊かな清水町の森をしっかりと守る大人になってほしいと思っています。



御影小学校

カボチャのピザづくり体験（つながる十勝清水学）

ピザづくり体験の始まりは、「カボチャ収穫体験」でした。「口田農場」様にお願いをすると二つ返事で引き受けて頂きました。当日は素敵なサプライズがありました。農場の中をトラクターが引っ張る荷台に2年生全員を乗せてもらって、カボチャ畑まで連れて行ってもらいました。



到着すると口田さんにカボチャのへたのきり方を

教えてもらいました。大きなハサミでへたを切ります。2年生は3つのグループに分かれ、大きなかぼちゃを見つけては、かぼちゃ切りはさみでチョコキン！「とったどー！」と言わんばかりにたくさん収穫していました。



第2弾は、「トラクターの絵を描こう」です。

口田さんが学校までトラクターに乗ってきていただき写生会を開きました。その前に、2年生の全員がトラクターに乗せてもらいました。ですから、出来上がったトラクターの絵は画用紙一杯に



生き生きと描かれていました。体験は人を育てますね。

第3弾、ピザづくり体験「ますやパン」様に石窯のついた車で来校していただき、保護者の方にも食材や当日のご支援をいただきながら子ども達が手作りピザを作り美味しくいただくことができました。

ピザは、とてもチーズが伸びるしでき立てだし、すごくおいしかったです。カボチャもホクホクで美味しかったです。またピザをいっぱい食べたいです！

僕はピザづくりが初めてだった。美味しく作れるかと思ってたけれど「結構上手につくれるじゃん。」と言われて、「やったあ！」と思いました。とてもおいしかったです。

清水中学校

福祉（幸せ）の探究 ～認知症サポーター養成講座～



総合的な学習では、3年生が人権・福祉をテーマに調査探究活動を行っています。今年度も外部講師をお迎えし、貴重な体験をしながら学習を進めています。

11月1日（木）には町内の社会福祉法人清水旭山学園障がい者支援施設清水旭山学園から、鈴木康功様を講師にお迎えし、認知症サポーター養成講座を実施いたしました。

特別なスキルがなくても、認知症について興味をもち、積極的に関わろうという意識は必要です。そういった姿勢が認知症の方とその家族を支える力になります。

高齢になると、誰でも認知症になる可能性があります。ひとりでも多くの方が認知症を正しく理解して、やさしい地域づくりに貢献できればと考えます。



認知症サポーター養成講座を通して、生徒の中に「寄り添い支えよう」というあたたかな気持ちが広がればと願います。

地域の皆様の応援により、充実した教育活動を通して、多くの学びや気づきが学習の中で生まれています。この場を借りて感謝申し上げます。

御影中学校

「2学年職場体験学習」



10月26日（木）、2学年生徒が清水町内の各事業所等で職場体験学習を行いました。体験前には、事前学習として帯広信用金庫様



より講師を招き「マナー講座」を行いました。礼儀作法や言葉遣い等、普段の学校生活を振り返ることができるようにすることもねらいの一つとして取り組みました。



体験当日も、生徒は仕事の楽しさ、難しさ等を感じながら、緊張感をもちつつも、とてもよい表情で体験学習に臨むことができました。清水町内の各事業所の皆様や地域の皆様には、生徒のために学習の場の提供とご指導をいただき、また、参加した生徒に対して励ましのお言葉をいただきましたことに心から感謝申し上げます。



【職場体験にご協力いただいた事業所】
帯広信用金庫、せせらぎ荘、フクハラ清水店、
ホクレン御影店、サツドラ+勝清水店、えびす
や、農志塾、清水消防署、村上牧場、清水赤十
字病院、御影診療所、御影こども園、しみず認
定こども園、清水町図書館

